

岐阜県代協ニユ

平成23年6月

vol.195



一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

日本代協平成23年度通常総会、会長会議に参加

一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会 会長 おおえ 大江 かねお 金男

6月15日損保会館に於いて日本代協平成23年度通常総会が開かれました。東日本大震災当日の3月11日の臨時総会以来の再会で、無事を喜び合いました。

総会は平成22年度事業報告と決算が中心でした。

午後開かれた会長会議では、被災地域の会長さん達から各県の被災状況が生々しく語られ、復旧・復興のための全国的な支援活動を継続することが全員一致で確認されました。

今年度は会員増強に本腰を入れて取り組むこと、自治体との連携で災害に備えたハザードマップの普及・伝導、学校での安全教育の導入の試み（富山県代協が教育委員会と連携）、代理店賠償の100%加入、国民年金基金の加入促進を重点にしていこうとなりました。

また、過去に総会後に開催していた「正会員懇談会」に変えて、今年11月18日（金）19日（土）に「コンベンション」を開催することになりました。規模は350名を予定しています。18日夜には保険会社との懇談会も計画されています。



6月18日19日、岐阜県商工団体連合会が福島県へ4トラック2台の救援物資を届けました。茶碗、皿、湯飲みなどの陶磁器、夏物の男女下着やTシャツ、トイレトーパーなどの日用品や日持ちのする食料 etc . . .

私も便乗し高速道路で一路福島県郡山市へ向かいました。朝7時に出発し途中渋滞もなく午後4時に郡山市へ無事到着し、出迎えの現地の人と合わせ20人程で荷下ろしし、義捐金を含め届けることができました。

郡山市の街並は内陸のため津波被害はなく、地震も屋根瓦が落ちたり壁に亀裂が入っているのが目につく程度ですが、原発による放射能汚染は深刻で、60km離れているにもかかわらずかなり危険な数値が出ているようです。

翌日は太平洋に面したいわき市を訪れました。ここは津波により海岸付近の建物は重量鉄骨やコンクリートの建物以外は、流されるか残っていても原型をとどめていません。残っていた信用金庫や学校も中はめちゃくちゃで取り壊すしかありません。体育館の真ん中にグランドピアノが1台ぼつんと置かれていたのが印象的です。学校の校庭はがれき置き場で山のように積み上げられています。この学校は放射能汚染も含め廃校になるようです。

原発から20km以内に住んでいた人は家族4人が東京・大阪・栃木と全員バラバラに親類や知人宅で避難生活をしていると語ってくれました。私が地震保険のことを聞いたら、「立ち入り禁止区域なので保険会社の調査もできていない。」「時々こっそり帰ってみると、家の中が泥棒に荒らされてどンドンひどくなっている。」と言うことでした。

短時間の滞在でしたが、復旧・復興には長い時間がかかるなという思いと、放射能汚染がかなり深刻な状況を生み出しているということを強く感じました。

目次

| | |
|-----------------------------|---|
| 1 p . . . 会長挨拶 / 目次 | 8 p . . . 中さんの保険諸国漫遊記 (62) |
| 2 p . . . スケジュール / 事務局より | 9 p . . . ~ 保険ジャーナリスト |
| 3 p . . . 日本代協ニュース / 支部活動報告 | 10 p . . . 中崎章夫 ~ |
| 4 p . . . 支部活動報告 | 11 p . . . なるほど『ぎふ雑学』(27) ~ 松尾 一 ~ |
| 5 p . . . 委員会報告 | 12 p . . . SHINWA グループ |
| 6 p . . . 代理店紹介 | 13 p . . . 損害事故復旧サービス ~ ホームステップ (株)イグ ~ |
| 7 p . . . 会員投稿記事 | 14 p . . . 交通事故による損害復旧工事 ~ (有)岐垣創建 ~ |
| | 15 p . . . 東日本大震災義援金報告 |

スケジュール/事務局より

～ スケジュール ～

| 日付 | | 主催 | 行事・議題・内容など | 開催場所 | |
|----|----|----|------------|---------------------------|----------------|
| 6 | 3 | 金 | 飛騨支部 | 例会(11:45～) | ぎょさい |
| | 8 | 水 | 日本代協 | 保険大学第12期生第4回セミナー | ウインクあいち |
| | 8 | 水 | 中濃支部 | 救急救命講習(13:00～16:00) | 可茂消防署 |
| | 9 | 木 | 東濃支部 | 例会(11:30～) | みわや |
| | 15 | 水 | 日本代協 | 平成23年度定時会員総会(10:00～) | 損保会館 |
| | 22 | 水 | 東海ブロック | CSR委員会(10:30～) | 愛知県代協事務局 |
| | 22 | 水 | 東海ブロック | 東海ブロック協議会(14:00～) | 愛知県代協事務局 |
| | 28 | 火 | 県代協 | 三役会(10:30～) | 岐阜県代協事務局 |
| | 28 | 火 | 県代協 | 年会費諮問委員会(13:30～) | 岐阜県代協事務局 |
| | 29 | 水 | 岐阜支部 | 第1回合同ブロック会セミナー(13:30～) | 長良川スポーツプラザ |
| 7 | 5 | 火 | 日本代協 | 保険代理士更新研修 3、6、9期生(13:00～) | (株)損保ジャパン名古屋ビル |
| | 5 | 火 | 岐阜支部 | 役員会(12:00～) | 岐阜県図書館 |
| | 6 | 水 | 西濃支部 | 例会(11:30～) | 鶴見天近 |
| | 6 | 水 | 理事会 | 理事会(13:30～) | 瑞穂市総合センター |
| | 13 | 水 | 中濃支部 | 例会(10:30～) | 太田宿 |
| | 14 | 木 | 東濃支部 | 幹事会(11:00～)、例会(11:30～) | みわや |
| | 22 | 金 | 西濃支部 | 懇親会(予定18:30～) | 未定 |
| | 27 | 水 | 広報機関誌 | 委員会(13:30～) | 岐阜県代協事務局 |

～ 事務局より ～

平成23年度 日本代協認定保険代理士 資格更新研修 / 試験について

(受講会場変更手続きのWeb化など)

本年も「日本代協認定保険代理士」資格更新の時期となり、更新研修テキスト及び案内通知(ハガキ)が更新対象者の皆さまのお手元に届いていることと存じます。

対象期 : 3期・6期・9期

開催日時 : 2011/07/05 13:00 より

開催会場 : (株)損保ジャパン名古屋ビル 19階会議室

昨年度から、更新対象者お一人ずつに専用のWebサイト「代理士マイページ」が新設され、上記更新案内通知にて URL、ユーザー名、パスワードなどがお知らせされています。都合により、会場変更などのお問合せがある場合、「代理士マイページ」をご利用いただきますようご案内申し上げます。

(従来行っていましたFAXによる会場変更は受付できません。)

また、「代理士マイページ」の利用マニュアルは、上記案内通知記載のURLに添付されております。

URL = <https://www.hokendaigaku.com/Logon.aspx>

なお、不明な点などがあれば「日本代協教育事務センター(03-6736-2501)」へご照会ください。

岐阜県代協事務局

TEL : 058-294-1221

FAX : 058-294-8051

Eメールアドレス : gfdaiyo@opal.ocn.ne.jp

(担当:小川百合子)

日本代協ニュース

東日本大震災・被災地代協を会長が慰問～今後の長期支援の思いを新たに～

今回の東日本大震災で被害の大きかった宮城・茨城・福島・岩手の4代協を岡部会長が訪問しました。「自分自身も大きく被災しているにも拘らず、お客様の為に一時でも早く保険金が受取れる様奔走したり、避難所を訪問し、保険金請求の相談や連絡先の案内する姿」や、震災に直面した会員の体験談をはじめ、今後活かすべき意見・要望も直接聞くことができ、有意義で感動的な訪問となりました。

また、津波の被害が大きかった地区の様子を実際に見て回り、復興には長期に亘る支援が必要との思いを改めて認識、今回の訪問での会員の声を受け、今後の支援活動も検討していきます。

支部活動報告

【岐阜支部役員会報告】

開催日時 : 平成23年 5月11日(水) 11:30～

開催場所 : 長良川スポーツプラザ レストラン杏

出席者数 : 9名

報告者名 : 岐阜支部長 岩田 篤宗

《議題》

合同ブロック会セミナー(東ブロック担当)を6月29日、長良川スポーツプラザにて、1部は東京海上日動の岐阜支店より、2部は岐阜市役所より講師を招いて震災・防災をテーマに開催。

8月5日に、グランベール岐山にて、東西ブロック主催による納涼懇親会を開催。

会員増強に意識をもって取り組んでいく。年会費の件を、小西専務理事を交え、意見交換

次回役員会は 平成23年 7月 5日(火) 12:00～場所 岐阜県図書館 レストラン杏にて

【岐阜東ブロック会報告】

開催日時 : 平成23年 5月26日(木) 12:00～

開催場所 : 鴻瀬館

参加者数 : 13名

報告者名 : 古田 誠二

《内容》

岐阜県代協年会費について・募集人1～2名の場合、割高感があるのでは?、支出面で代協ニュースの発行方法、発行回数を再検討した方がよいのでは? など、様々な意見が出た。

今後の行事について ・6月29日(水)合同ブロック会、 ・8月 5日(金)岐阜支部懇親会
保険大学校受講者募集、会員増強について その他情報交換、意見交換

【岐阜西ブロック会報告】

開催日時 : 平成23年 5月26日(木) 12:00～

開催場所 : 馬喰一代

参加者数 : 21名

報告者名 : 高橋 健

《内容》

岐阜県代協年会費について 保険大学校受講者募集、会員増強について その他情報交換、意見交換

【西濃支部6月例会報告】

日時 : 平成23年 6月 1日(水) 12:00～13:30 場所 : 鶴見天近

参加者数 : 15名

報告者名 : 後藤 益充

《議題》

CSR委員報告 エコキャップ運動(ペットボトルのふた集め)のご案内

西濃支部会のご案内 日時 : 平成23年7月22日(金)予定、 場所 : 未定

その他他社の動向 弁護士費用について

次回の例会は 7月 6日(水) 11:30より 場所 鶴見天近にて開催し、東京海上日動

大垣支社より社員数名の方におこしいただき、東日本大震災の被災地および被災者の現状についてお話し
いただく予定です。

【中濃支部 6月活動報告】

日 時 : 平成23年 6月 8日(水) 13:00~13:30

場 所 : 加茂消防署

参加者数 : 11名

報告者 : 吉田 春次

《内容》

救命救急AED講習行いました。

傷病者を発見から

反応の有無を確認

119番通報とAEDの手配

気道の確保

呼吸を確認

人工呼吸

胸骨圧拍と人工呼吸

AED準備 AEDの使い方の注意。

心臓ペースメーカーが埋め込まれている人、

電気ショックを実施する時、疾病者から離れていること等、

注意点を聞きながら、AEDで命が助かること、重要性を

再確認しました。



7月例会は、7月13日(水)10:30~12:00

美濃加茂市太田宿にて 例会内容にT社震災報告会を組み込み予定しております。

【東濃支部例会報告】

開催日時 : 平成23年 6月 9日(木)11:30~

開催場所 : 瑞浪市釜戸 みわ屋

参加者 : 6名

報告者 : 伊藤 智之

《内容》

会員増強について

次回例会時に震災対応の現状について保険会社より話をいただく

次回案内 7月14日(木)幹事会 11:00~、例会 11:30~ 場所:みわ屋

9月の研修会についての話し合いをしたいと思います。

【飛騨支部 6月例会報告】

日 時 : 平成23年 6月 3日(金)11:45~

場 所 : ぎよさい

参加者数 : 13名

報告者 : 成原 大介

《議題》

広告記載について

セミナー開催予定について

保険大学、新入会員増強 について

飛騨支部創立30周年に向けて

議題の後、昼食をとりながら、

各自様々なコミュニケーションをとっていました。



委員会報告

【教育委員会】

《日本代協保険大学校第14期受講者募集状況について》

日本代協保険大学校第14期受講者募集にご協力いただき誠にありがとうございます。
岐阜県代協の目標数は申込開始初日に、また東海ブロックの目標数も6月初旬の時点で達成いたしました。
さらに6月26日(日)には、岐阜県代協は目標達成率300%となりました。
皆さまのご協力に教育委員一同、大変感謝いたしております。

そこで、次は東海ブロック各県の目標達成となりますが、東海ブロックとしての残りの枠数(6/26(日)現在 11名)が限られており、目標数を超えるとお断りする場合がありますので、受講希望の方は早々にお申込下さい。

| | | | |
|------------|---------|------|--------|
| 【ブロック目標数】 | 6/26(日) | 現在 | 達成率 |
| 目標数 | 83名 | 109名 | 131% |
| 【ブロックリミット】 | 120名 | 109名 | 残り 11名 |
| 【県代協別目標数】 | 6/26(日) | 現在 | 達成率 |
| 静岡 目標数 | 12名 | 11名 | 92% |
| 愛知 目標数 | 47名 | 45名 | 96% |
| 岐阜 目標数 | 12名 | 36名 | 300% |
| 三重 目標数 | 12名 | 17名 | 142% |

(報告 担当副会長 山口 京子)

【組織委員会】

【新入会員の紹介】

東濃支部 : (株)パートナー保険岐阜 代申 日本興亜
店主 浅田 佳史 様
〒509-5301 土岐市妻木町 1598-4
TEL 0572-57-5606
FAX 0572-57-5607 (平成23年 6月 2日入会)
紹介者 (有)パートナー保険 様

岐阜支部 東ブロック
: (有)NTYプランニング 代申 三井住友
店主 河田 泰伸 様
〒504-0945 各務原市那加日新町 6-3 オフィス 21 1-A
TEL 058-371-8587
FAX 058-382-6397 (平成23年 6月 16日入会)
紹介者 (株)リンク東海 古田 様

代理店紹介

西濃支部 有限会社 総合保険事務所 岡本

<代理店名>

有限会社 総合保険事務所 岡本

<事務所所在地>

〒503-0412

岐阜県海津市南濃町奥条237

TEL 0584-55-0886

FAX 0584-58-1757

E-mail y-108880@ag.sompo-japan.co.jp

<代表者名>

水谷 厚美

<スタッフ>

1名 (女 1名)



<取扱保険会社>

損保 株式会社 損保ジャパン 計1社

生保 損保ジャパンひまわり生命保険株式会社 計1社

<略歴>

平成10年 9月 安田海上火災入社 (研修生)

平成13年 9月 法人化 有限会社総合保険事務所設立 現在地に事務所を構える

平成23年 6月 現在に至る

<事務所の環境>

南濃町国道258号線近くの閑静な住宅街の中で環境は抜群です。

明るい事務所です。

<経営理念>

安心と安全の

総合コンサルタント



会員投稿記事

東日本大震災、その後・・・

東日本大震災に対応した補正予算の財源捻出のため、2009年3月に始まった高速道路の休日料金上限1,000円と、全国50区間で実施された無料化実験が20日の午前0時を以って廃止（凍結？）になりました。

これとは逆に、被災した東北地方の高速道路では、罹災証明書または被災証明書と運転免許証など身分証明書の提示により、20日の午前0時以降料金が無料になりました。

罹災証明書は、建物の損害状況などを調査し、国が定めた基準により発行されるが、2～3ヶ月かかります。

これに対し、被災証明書の発行は、各自治体の判断に委ねられており、「地域全体が被災地」という認識から、家財道具の損害、断水や停電も被災として証明書を発行しています。

実際に高速道路を頻繁に利用する被災者の方々にとっては、被災証明書は容易に発行され、高速料金が無料になることから、珍しく(?)素早い行政の対応に歓迎の声が上がっているとか。



その一方で、こんなことがあったようです。

震災から100日目にあたる18日に各地で慰霊式典が行われたその朝に被災証明書（偽造？）がインターネット・オークションに出品されたとか...

震災を利用した義援金詐欺や避難住民の留守を狙った空き巣も多いと聞きます。

世界中が評価した「社会的秩序と規律を守る日本人」の精神（こころ）を、被災していない私たちも持ち続ける必要があると感じました。



(投稿者名：ボランティアに行きたかったが家族に反対されたオッサン)

中さんの保険諸国漫遊記(62)

保険ジャーナリスト 中崎 章夫

地域密着型プロ代理店の役割を再確認

～いま代理店経営に求められる自立と自律～

保険関連情報の一大交流の場

6月12日(日曜)横浜市・パシフィコ横浜国立大ホールで「RINGの会」のオープンセミナーが開催され、生・損保代理店はじめ保険会社、保険関連業者など参加者約850名、ブース出店関係者まで含める約1000人が参集した。大ホールの使用は初めて。「RINGの会」(<http://ring-web.net/>)のオープンセミナーは今回で13回目。毎年、その時々合ったテーマを決めて、講演・パネルディスカッションがおこなわれ、また保険業界で役立つ情報提供のために保険会社3社をはじめ23社・団体の出店があり、まさに保険関連情報の一大交流の場となっている。今回は東日本大震災で保険の機能や保険代理店の役割並びに代理店自身のリスクマネジメントが求められていることから、テーマを「期待と課題」(今私たちに求められている事・出来る事)とし、基調講演及び2テーマでパネルディスカッションが行なわれた。今回は第1部の基調講演から2部、3部のパネルディスカッションを通じ困難な時代ではあるが、代理店事業に「自律と自立」の必要、代理店は規模に関係なく、多様な活路がある、人のつながり、専門性と人間力を生かした地域密着型プロ代理店の役割が改めて再確認された。

復興支援セミナーとして継続支援

「RINGの会」では今回のオープンセミナーを「東日本大震災復興支援セミナー」として、会として継続的に被災者支援をしていこうという位置づけもある。当日は第1部の講演終了後、スクリーン上に、約7分にわたり東日本大震災で罹災した代理店(気仙沼、モリ保険事務所 森雅志氏)からのビデオレターも会場に流され、震災の現状やその中で前向きに活動する姿・生の声が約7分にわたり紹介され大きな感動を呼んだ。さらに会場では震災で両親をなくした震災孤児の未来に発展と育成をサポートする団体への活動支援のための募金活動が行なわれ、参加者等から約43万4000円の募金が寄せられ、また今回のセミナー参加費から1人当たり1000円(約85万円)を義援金として、その合計額が、あしなが育英会へ贈られる。

金融庁が身近になった佐々木氏講演

セミナー第1部では「金融検査の現状と今後の方向性」-保険会社及び保険代理店との関係で-と題して佐々木清隆氏(金融庁検査局総務課長)が講演した。佐々木氏は金融検査について、その目的、検査実施の流れ(予告から立入検査、検証、結果通知、一般的な期間やチーム構成など具体的な体制)について説明。

さらに自らの検査経験(ライブドア検査、村上ファンドなど)を例に、強制検査と一般検査の違い、金融検査の基本的コンセプト(内部統制の検証)について述べた。さらに、保険検査マニュアルの中で特に保険代理店と関連する項目として、経営管理態勢(ガバナンス)、法令等遵守態勢、保険募集管理態勢、顧客保護管理態勢、オペレーショナル・リスク監理態勢の5つを挙げ、現場・顧客に最も近い立場だけにこれら態勢の構築が重要とした。また、金融庁に指摘されるから、あるいは保険会社から要請されるからというのではなく、自らのビジネスの上での自己規律が必要で、そうした取り組みについては金融庁としても支援して行きたいと述べた。また、最近の注目点としてシステムを中心とした業務の外部委託やクラウドコンピューティングなどによる顧客管理についての調査も行なっていることなども紹介した。

大型代理店が抱える課題も鮮明に

第2部は「大型化から見えたもの」-代理店経営に問われるリスク管理とは?-と題したパネルディスカッションで、中崎章夫氏(RINGアドバイザー)をコーディネーターに、いずれも多くの生損保保険会社と取引のある独立系の大型代理店である八代元行氏((株)第一成和事務所)、村上実氏((株)保険相談センター)、清水丈嗣氏((株)インシュアランスサービス)の3氏が事業の現状と大型化ゆえの経営リスクについて報告した。特に、損保業界では代理店の大型化に大きく舵を切っており、代理店も組織大型化を目指すところが多くなっているが、大型化が必ずしも成功の基準ではない、多様な事業形態があるべき、代理店としての自律と自立が問われていること、といった点について具体的な課題(固定費、情報の共有化、社員育成、コンプライアンス、顧客サービスなど)が話された。同時に社会的な存在としての責任の自覚や社会活動にも3氏がさまざまな団体に属しながら積極的にかかわり、社会人として、人のネットワークを生かしている点なども紹介された。

大型化もそれ自体が自己目的ではなく、顧客に万全な体制とサービスの提供という積み重ねの結果による組織拡大だとするとともに規模の大小にかかわらず多様な事業モデルが成り立ちうるのでは、とした。また組織化に当たった留意点としてトップは分業化と情報共有、中間管理職の活用・育成など従業員とのベクトルを合わせることに腐心する必要があることがそれぞれのパネリストから強調された。

「大型化して保険会社に対する発言力が増したか」との質問では、いずれも保険会社との関係は変わらない、とした。保険会社への要望としてはリスクテイクが保険の本来の役割、保険会社はメーカーであることを強く意識して欲しい、地震保険なども顧客指向の観点から制度の在り方の再考を求めるなど、本当にお客様の方向を向いているのかを感じることもあるなどの意見も出された。また今後の代理店事業者は、自律と自立が問われること、特に代理店の職業としての自主ルールについてもゴルフのルールブックを例に、保険会社任せにせず、代理店自ら律していくような独自のルールブックの必要性が強調された。

優良納税法人を継続

八代氏（63歳）は、2代目。本年11月で創業50周年を迎える。本社は東京・中央区人形町。社員22名、パート・派遣8名、売上高4億円（損保3億7千万円、生保3,000万円）、法人500社、個人1万名、官公庁の団体傷害保険を中心に第3分野商品を取り扱う。営業と法令遵守の両輪をバランスよく進んでいく会社が生き残るとの観点から、団体契約を中心としたノウハウを磨くとともに、ISO9001とプライバシーマーク取得を得るなど、独自のコンプラ基準を構築するとともに、事業継続計画を持って顧客並びに保険会社の信用力を高めている。「正確、迅速、丁寧」をモットーに変わらぬサービス提供が顧客から支持されている。

組織化は、「人は一人では実現できる範囲は限られている」ため多くの力を得ることで営業と業務の両輪を持って顧客サービスに傾注できるため、とし、留意点としては、人材の育成のための教育に力を入れていくべきで、人が育てばその人が自然と会社を支え発展させる力になる、としている。

リスク管理面では、一定の利益を継続して出し続けることが法人として社会貢献につながるので固定費の増加の回避を心がけている。（同社は東京都中央区で継続して優良納税法人に認定、日本橋優申会幹事長を務める）また人が仕事をする限りヒューマンエラーは避けられないとの観点で予防・防止と万一発生後の迅速な対処に気を使っている。

メンバーの価値観共有に腐心

村上氏（45歳）は、役職員39名（役員4名、営業17名、事務16名）アルバイト・委託22名。売上高7億5,000万円（生保6億3,000万円、損保1億2,000万円）、顧客数3万877件（うち法人4278件）、平成11年設立、研修生を経て保険代理店として独立、研修生時代は企業賠償保険、任意労災保険を得意としコネなし、金なしで開き直りの飛び込み営業、テレアポで成績を伸ばした。代理店独立後、生保にも力を入れ、MDRTにも連続入賞、COT/TOTを達成し、現在は経営に専念。事業拡大に当たっては、他からの出資を仰がず、目標を定め生保法人案件を獲得し自らの稼ぎで資金を用意した営業突破力は余人をもって真似できないものがある。

平成15年8月名古屋栄の中日ビル1階にオープンしたのを皮切りに、その後6階と地下1階のフロアにも進出する、店舗集中方式で、「保険選びは相談選び」をキャッチフレーズに、地下1階に、家計の総合相談窓口を設けるとともに、個人向け相談としては保険相談、年金相談、住宅相談、税金相談、SBI証券との提携によるマネー相談、さらに6階には経営相談やセミナールームを設けるなど独自に総合相談サービス業を展開している。広告宣伝面でも新聞やテレビ等を積極的に活用している。本年新たにSBI証券と提携し、新規事業として東京新宿と大阪梅田にマネープラザの展開を始めている。

組織化は顧客に万全の態勢で対応するためとし、留意点はメンバーの価値観の共有にあるとし、企業理念に即したベクトルの方向性を合わせることに腐心している。リスク管理面では価値観の共有に加えてコンプライアンスの徹底を図る。すでに保険ショップ売り上げが訪問販売を上回っている。

村上氏はJC東海フォーラム委員長として2005EXPO愛・地球博で大イベントを開催した。

中間管理職性の育成を核として

清水氏（39歳）は、2代目。兵庫県芦屋を本社に東京、名古屋に支店展開、また大阪、神戸にFPオフィスを展開するほか来店ショップとして保険クリニック芦屋店と神戸三宮店を出す。社員数63名（役員3名、正社員44名、委託型等16名）、売上高5億2,000万円（うち損保4億2,000万円、生保1億円）、法人4,000社、個人2万人。法人向け新種保険がシェア5割とノウハウを有し、個人契約は電話募集チームに集約。分業化の推進（営業、鋭意業務、業務、総務経理、人事、経営企画、損害サービス）社員は原則固定給での採用と育成。

組織化は、顧客へのサービス向上面では、担当が変わっても均質なサービスを提供することと、複雑化する保険や関連業務に対応するため分業化が必要なこと、固定給、チームでの評価とすることで、社員は目先でなく、長期的、顧客の立場に立った取り組みができることにあるとする。またガバナンス面では6名前後のチームを1ユニットとして中間管理職がマネジメントしている。数値管理、コンプライアンスの点だけでなく、精神面のケアもできるようにすることが重要。長期的な人材育成、ひいては会社の成長のためでもある。

リスク管理面では、コンプライアンスと手数料ポイント、組織に係るリスクに心がけている。

今後の課題としては、業務フローの見直しによる時間の創出、法人マーケットへの特化と付加価値の創出、これについては部門ごとの独自色を持って試行錯誤中。

ますます重要視される地域代理店の役割

第3部は「地域代理店の役割を考えよう」と題して、土川尚己氏（名案企画（株）代表）をコーディネーターに、地域密着型で事業展開する中型代理店である伊藤由美子氏（伊藤保険（株）代表）、小田島綾子（（株）おだじま保険事務所代表）、吉田正太氏（（株）ライフ・ワーク代表）の3氏が、日頃からの地域密着の活動や今回の震災で感じた地域代理店の役割などについて述べた。このパートは、コーディネーターの事前調査に基づいた確かな演出と、等身大の代理店経営者の具体的な取り組みの話が身近なため、大きな反響を呼んだ。

前半は地域における個々の戦略で「損保は管理だ」戦略（小田島）「餅は餅屋」戦略（吉田）「ちょっと知ってる」戦略（伊藤）などを挙げ、その具体的な取組事例として地域密着の訪問、集客、情宣、提携などの活動が紹介された。

また、今後の目指すところでは「明るく元気でさわやかに」の継続（小田島）「保険の顧問」（伊藤）「保険代理業の次の担い手」（吉田）として、その思いが語られた。

「ほけんF Pカフェ」情報発信型で集客しクロスセールス

伊藤由美子氏は、愛知県豊橋市で来店ショップ「ほけんF Pカフェ」を運営、役員4名、正社員1名パート2名、委託1名、損保4社、生保9社と取引、売上高は7000万円（内訳は損保4000万円、生保3000万円）。

顧客から「イトウホケンさんに全部任せてよかった」と言われるようにすべての顧客の世帯リスクコントロールをし、地域に密着した代理店として発展を目指していく。女性スタッフで構成される組織のため、社員が働きやすく子育てしながら仕事ができる体制整備を図る。

強みは、地元密着、看板やチラシ、地元FM放送への出演など情報発信型で集客し生保、損保までクロスセールスを心がける。地元工務店10店とも提携し、セミナーやF P相談予約で見込みの切れない仕組み作りをしている。集客はブログ、HPからの完全予約制。

弱みは法人に対する生保販売があまり積極的にできていないこと。

課題は、情報提供型販売と土業タイアップにより女性相続グループの発足を図ること、顧客管理データの精度を上げXデータにつなげクロスセールスを行うこととしている。

「損保は女性に向いている」法人に特化の地域密着型

小田島綾子氏は、2代目。新潟県小千谷市に店舗を構える。役員2名、正社員3名、パート1名、損保3社、生保3社と取引。売上高は約5000万円（損保4,700万円、生保350万円）。女性スタッフのみで運営、「損保は女性に向いている」と言い切る。

強みは、法人顧客中心で新種、賠償責任分野が得意。ほとんどの顧客は事務所から10分以内の距離で効率がよい。主要法人顧客（約10社）には週2~4回様々な案件で行き来があり変化の把握ができる。弱みは個人客と生保が少ないこと。新規時事業や安全対策を考えると意見を求められるよう知識や情報を蓄えて、地域の方々から保険のことならおだじま保険」とすぐ名前を思い出してもらえる会社を目指す。

現在、建設系、医療機関の事故防止、事例研究などの勉強会を先方の担当部署と企画・実施している。大震災以来、法人、団体組織の顧客の業務内容や営業エリアを再確認し保険についての今後再確認し保険の手当て面でも話し合うための準備中。

目指すは「コンビニのような近くで便利な保険代理店」

吉田正太氏は、福岡県三潁（みずま）郡大木町のロードサイドに来店型の事務所を構える。平成13年に研修生を独立、平成17年4月に法人化したばかりのフレッシュな専属代理店。

「コンビニのような近くで便利な保険代理店」を目指す。役員1名、正社員3名、委任2名、パート1名、売上高は損保2,500万円、生保2,600万円。

強みは、社員の若さ（スタッフ平均33.7歳）で顧客の要望に即座に対応できることとシステム整備も進め、グループウェアや生保の管理システムを導入、顧客の情報共有を図れていること。マーケット的には兼業代理店との提携によりコンスタントに案件が出ていることだ。

弱みは法人開拓力が弱いことと法人との関係性が薄く既存法人の深耕と開拓プロジェクトが販売スタッフ全体に浸透していないこと。

このため、顧客に対し社員一人ひとりが考えて行動することを基軸としている。若いスタッフが多いため、マナーや言動、行動に、お客様が不満に思うのでは？と感じるところを毎週バックオフィスのみで話し合ったりしている。営業は毎週月曜に始業1時間前に他代理店の若手プランナーも参加しロープレを中心に勉強会を行う。人間力強化を目的に強固な組織作りを目指す。保険に携わる仕事を社員が誇りをもって行動できるようにすることが自らの使命という。

（保険ジャーナリスト、inswatch 編集人）



映画化された夜叉ヶ池伝説

むかし昔、西美濃は日照りが続き村人たちが困っていた。

そんなある日、安八の郡司安八太夫は田んぼのあぜに出てきた小さな蛇を見つけ、ため息交じりで「もし雨を降らせてくれたら娘をやろう」と、つぶやいた。

その夜から雨となり、作物も生き返り村人たちは大喜びをした。

まもなく、ひとりの若者が太夫の家に訪ねてきた。実は若者に化身したのは雨を降らした蛇で、太夫の娘を貰い川の上流の夜叉ヶ池に帰るといふ。太夫は困り果てたが、三人娘のうち末娘が「私がまいります」と、紅おしろいを付け白い布と機織り機を持ち若者とともに夜叉ヶ池に向かった。

夜叉ヶ池に着くと白い着物を羽織った正妻の蛇がおり、蛇となった美濃から来た娘(愛妾)は赤い着物を羽織ることになったが、正妻は美濃から来た愛妾を毎日のように仕打ちをして争いが絶えなかった。こまった男蛇は、越前の漁師に赤い着物を羽織った蛇を撃つように依頼して、ちょうど、うたた寝している赤い着物を着た蛇を漁師が撃った。

討たれた蛇は正妻だった。美濃の愛妾が、うたた寝している正妻に自分が着ている赤い羽織を掛けたのであった。



夜叉ヶ池は福井県南越前町と岐阜県揖斐川町(旧坂内村)の境、標高 1099 メートルにあり、夜叉ヶ池に至る流域には、いくつかの伝承の地が残されている。正妻が、里帰りする美濃の愛妾を押しつぶそうと岩を落としたが途中で止まってしまったという。これが八丈岩で、以後、正妻はこの地に住むようになったといふ、のち太夫の子孫が夜叉ヶ池に雨乞いする時は、八丈岩の下を通らなかつたという。

そのほか旧坂内村には、この八丈岩のほか夜叉壁、髪結岩、はたご岩、夜叉龍神社、長昌寺、布ひきという伝承の地があり、また安八郡神戸町には夜叉堂がある。

福井県や滋賀県でも伝説が幾つか伝えられている。例えば南越前町今庄の伝説では、弥右衛門の娘が武士に化身した赤蛇に嫁ぐが、赤蛇が死ぬと池を守るようになったといふ、同じく南越前町今庄の伝説では、池ノ上弥平の娘が夜叉ヶ池に嫁ぐと、美濃の娘が先にいていつも争っていたので、雄蛇は鯖波街道に出て加賀藩の武士に弓で雌蛇を退治してくれと頼んだという。

また長浜市余呉町の伝説では、夜叉ヶ池の真ん中に白木のお盆に化粧品を浮かべると、スーと池の底に吸い込まれて行くという。

大正2年(1913)、泉鏡花が、このような伝説を題材にして戯曲『夜叉ヶ池』を発表。まもなく東京、名古屋で舞台化されている。また昭和54年には篠田正浩の監督、中村玉三郎、加藤剛主演で映画化されている。ちなみにロケ地は白川村であった。

現在、夜叉ヶ池では山開き神事が行われ、また神戸町から夜叉ヶ池までのマラニックなどイベントが開催されている。



(まつお・いち) ライフワークは地域史(近世交通史)

著書は『やっぱ岐阜は名古屋の植民地!』『北陸街道紀行』等多数

リサイクルパーツの活用を

SHINWA グループ
会長 名和 盛男

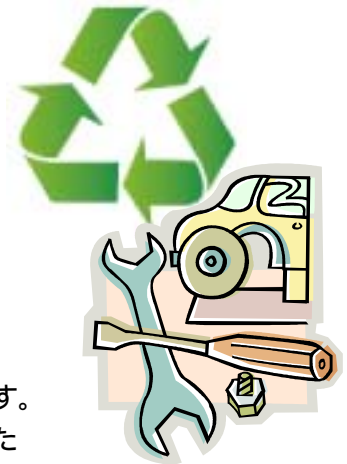
平素はSHINWAグループにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今回はリサイクルパーツについてお話をさせていただきます。

これまでもSHINWAグループとしましては、車両保険を使わず修理額を抑えたい御契約者様などには積極的にリサイクルパーツの使用を提案させていただき、大変好評をいただいております。

従来は主に地球温暖化対策の一環として、CO₂排出削減という側面からリサイクルパーツの利用の推進が言われてきましたが、ご承知の通り今回の原発事故により心配される電力不足の観点からも、改めてリサイクルパーツの活用が見直されようとしています。

なんでも新品を使うことによって、貴重な電力を浪費するより、省エネ・省資源につながるリサイクルパーツをより積極的に提案していこうと思います。もちろん結果として損害率の低下にも大きく貢献します。まさに時代に合った一石二鳥のこの提案に、是非積極的にご支援を賜りますよう、よろしく申し上げます。



| SHINWAグループ13社の連絡先 | TEL | FAX |
|---------------------------|--------------|--------------|
| オートボデーショップ篠田 (大垣以西) | 0584-74-7892 | 0584-74-7833 |
| 平野钣金工業 (岐阜市南西部・羽島郡) | 058-271-0773 | 058-271-0784 |
| オートサービスイトウ (岐阜市北西部・瑞穂) | 058-327-7167 | 058-327-2708 |
| 名和自動車工業 (岐阜市東部・各務原) | 058-245-0261 | 058-245-0262 |
| 和田钣金工業 (岐阜市中西部) | 058-251-7065 | 058-251-7095 |
| AUTOPIT羽島钣金 (羽島市以南・愛知北西部) | 058-392-1521 | 058-392-1520 |
| 成田钣金工業所 (多治見市) | 0572-22-5456 | 0572-24-2244 |
| 東美自動車 (中津川市) | 0573-68-3126 | 0573-68-3125 |
| リフレッシュセンター渡辺 (瑞浪市) | 0572-68-0980 | 0572-68-0982 |
| カトー自動車工業 (可児市) | 0574-62-3207 | 0574-62-3246 |
| 糸貫自動車 (本巣市) | 058-323-1251 | 058-323-0753 |
| 米野自動車工業 (下呂市) | 0576-25-2549 | 0576-25-4109 |
| オートリペアカワシマ (岐阜市北部・山県市) | 058-232-4185 | 058-232-4108 |



車のことはどんなことも、
SHINWA グループ各社に
ご相談ください。

損害事故復旧サービス

< 今月の復旧事例 >

車が街路樹2ヶ所・縁石2ヶ所を破損させてしまいました。歩道側に倒れた街路樹は危険なので即日撤去し、新しい街路樹を植えて復旧しました。縁石はヒビが入っているので、新品と交換して復旧しました。街路樹と縁石とでは管理している役所の部署が違うため、それぞれの部署と連絡を取り、復旧しました。

< 場所 > 岐阜市野一色

< 費用 > ￥357,000 - (税込)

被害状況

復旧後



建造物復旧は、

岐阜県損害保険代理業協会 提携会社

一級建築士在籍の **ホームステップ (株)イケダ** へ。

☎ 058 - 271 - 6788 (24時間即日対応)

FAX: 058 - 271 - 6787 携帯: 090 - 2775 - 4085

E-mail: joho@homestep.com

お知らせ

住宅版エコポイント終了間近

住宅版エコポイントは期間が短縮され、7月31日工事着工までの申請に変更されました。

断熱改修など、この夏の節電に貢献できる工事が対象です。

ご検討中の方はお気軽にご相談下さい。

交通事故による損害復旧工事

No.0095

高山市地内

建具雪害復旧工事

復旧工事費用

265,000円

作業前



作業完



- * 昨年の大雪による雪害復旧工事です。
- * 建具及びシャッターに損害があり取替えとなりました。

夜間の緊急作業にも、迅速対応いたします。

**Speedy Network で 東海・関西・北陸をカバーする
24時間・年中無休の安心対応**

名古屋市一般・指名入札参加資格 法人コード708110

有限会社 岐垣創建 代表取締役 佐藤有巨

本社 TEL 0584-87-2633 FAX 0584-87-2635

金沢営業所 TEL 076-249-5128 FAX 076-249-5338

京都営業所 TEL 075-604-5888 FAX 075-604-5887

E-MAIL giensouken@vega.ocn.ne.jp

ホームページをご覧ください。 <http://www.giensouken.jp>

東日本大震災義援金について

東日本大震災により被災された皆様に改めてお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、東日本大震災の義援金募金が、日本代協より被災代協へ送金されました。義援金を受け取られた以下県代協より日本代協を通じお礼状が届けられておりますのでご報告申し上げます。

<現時点で礼状の届いた代協>

- ・青森 ・岩手 ・宮城 ・福島 ・茨城
- ・埼玉 ・千葉 ・神奈川



また、日本代協では、今般の震災に係わる支援につきましては、息の長い取組みが必要であると考えています。従いまして、被災した会員に対する義援金の受付を当面継続されます。セミナー等各種行事で、継続的に義援金受付けの呼びかけを行って行きたいと考えておりますので、引き続きご協力いただきますようお願いいたします。

なお、受付けた義援金につきましては、毎月1回、月末迄にまとめて日本代協義援金口座へお振込みいたします。また、その際にはご報告申し上げます。

C S R 委員会担当副会長 小林 悦雄

編集後記

梅雨とはいえ、太陽が差し込む日も多く、快適な日が今のところ続きます。震災の影響で、この夏は『節電』など、我々が身近に取り組める事柄があります。どんどん意識的に、『クールビズ』を取り入れてはいかがでしょうか？確かに、アロハシャツにダメージジーンズでは、我々の仕事はちょっと無理があるような気がします。どこまでがOKで、どこからがNGなのか？それは、みなさん個々の感性です。ついでに、オシャレも楽しみましょう。ショッピングセンターで、「どうしようかな？」と、考えることが、センスを磨くことにもなります。個人的には、アロハでも、「いいんじゃない〜」と、思ってしまうのですが…。 (成原 大介)



発行日 / 平成23年 6月27日

責任者 / 大江 金男 発行 / 広報機関誌委員会

〒502-0912 岐阜市西島町8 - 10 Tel 058-294-1221 Fax 058-294-8051

E-mail : gfdaijy@opal.ocn.ne.jp <http://www.hokendaikyogifu.org/>

【編集室メンバー】笠城 茂、川島邦夫、北村篤俊、大野 広、後藤益充、野村幸弘、伊藤智之、成原大介、大江金男、小西恭弘、森 信彦